

星、還る

Yamashitabashi

Kominatocho

Yamate

Motomachi

Mugitacho

Honmoku

YOKOHAMA STARK27

Sankeien

Fudozaka

Negishi

北斎の描いた神奈川沖浪裏。
この一枚の絵が世界に衝撃を与え
巨星への道を開いた——。
星に祈り続けた北斎が、傑作を残した横浜の地に
いま再び、星のロマンが還る。
開港150周年を迎える2009年、
市民に惜しまれながら消えた路面電車を
LRT・横浜STARK27として迎えたい。
たくさんの星の物語を乗せて——。

27の星をつなぐ
YOKOHAMA STARK27



LRT (Light Rapid Transit)とは、欧米を中心とする各都市において、環境問題の解消を図るために導入が進められている新しい交通システムで、路面電車を基軸とした交通ネットワークのことです。

都市の回遊性を高め、まちを活性化したり、低床化によって乗降のしやすい、人と環境にやさしい21世紀の交通の主役として注目を集めています。

「温故創新」こそまちづくりの基本!!

かつての横浜には、地域に「らしさ」があり、それぞれが競い合い全体として横浜の魅力が醸成され、今日の繁栄を築いてきました。これからのまちづくりで大切なことは、こうした過去の遺産を継承しつつ、経済発展と環境保全、さらには交通需要などの総合的なマネジメントが不可欠と言えます。一言すれば「温故創新」——。私達は、こうした考え方をもとに次世代型交通システム・LRT（ライト・ラピッド・トランジット）の導入を柱として多角的なまちづくりの活動を展開してまいります。



車輛はイメージです。

写真提供：大谷不動産

まちづくり全体概念図

新交通システムの導入

- 電車なみの高い定時性
- 環境との共生
- ミニバスとの一体的運行

地域らしさの醸成

- 人材発掘・育成
- 交流促進
- 発信拠点づくり
- 文化再興

商店街の活性化

- 個性の発揮
- 内・外の交流
- 新商品の開発
- イベントの開催

本牧に「市民の力」でLRT導入を…!!

2009年、横浜開港150周年の着工を目指します。

現在の路線バスのみによる本牧の公共交通システムは、商店街の活性化はもちろん、まちづくりにおいても改善しなければならない最重要課題と言っても過言ではありません。

横浜文化を代表する地として知られる私達の街——本牧。この素晴らしい街を再び新しい文化発信の地へ…。そのまちづくりの第一歩がミニバスと一体運行を考えた次世代交通システム「LRT」です。その実現を私達「市民の力」で——。

YOKOHAMA STARK27

“STARK”とはスター(星)とアーク(箱舟)を合わせた造語で、現在想定される27の駅をつなぐLRTを、まちの活性化を願い、たくさんの人々の夢をのせて走る、未来の箱舟にイメージを重ねた呼称です。

ライトレール本牧事業推進プロジェクト

〒231-0825 横浜市中区本牧間門37-24 TEL.050-5526-1461

協力：特定非営利活動法人 エコ住宅リサイクルバンク

